

高架水塔

泗水町富の原にある給水塔は、花房飛行場にて戦中、戦後を通して水資源の重要な役割を果たしました。構造は、鉄筋コンクリート造で3段構成柱梁になっています。全高13.5m、横幅8.5mで、下層部は壁を有した機械室、中層部は柱のみ、上層部は水槽という構成となっています。また、水槽部の中心には芯持ち円柱があり、力学的にも有効な構造をしています。



認定番号特別H 22-2号  
推薦者 花房飛行場の戦争遺産を未来に伝える会

給水塔の最上部には、1945年5月13日空襲時の機銃弾の跡が、えぐられた状態で約30カ所確認されています。悲惨な戦争の様子を知り、平和の大切さを伝えるシンボルとして残されています。

人権同和教育シリーズ⑦

平成22年度泗水中学校卒業  
岡本真理子さん  
（平成22年度全国中学生人権作文コンテスト熊本県大会入賞  
作文集掲載作品より）

当たり前の大切さ

私には、体が不自由な祖父がいます。とても優しく、楽しい祖父で、私にとってとても大切な家族の一人です。小さい頃から、この祖父や今は入院している祖母と一緒に暮らしていました。祖母と祖母を見てもらっていました。

でも今は、私が祖父の自由がきかない分のお手伝いをしていきます。目薬をさしたり、血圧を測ったり、薬を飲ませたり排泄の手伝いをするなど、いろいろなことを手伝います。ですが、一つだけすすめられない事があります。それは、昔からお酒が大好きで、今でもよく飲むことです。それも、適度に飲むことができるのなら良いのですが、一度にたくさん飲んでしまうと、きがあるのです。そういうとき祖父は、お酒に酔ってしまってもともと思いきや、動かせない足をとられ、ますます動けな

くなってしまうたり、座っている間にもバランスを崩して倒れて、頭や体を物につけてしまっています。そういうふうにはできないことが多くなるときに、手伝うのが私と母です。

祖父がそうなら、自分ではできないことがあるたびに私や母の名前を呼びます。今はもう慣れましたが、初めのうちはすごく疲れました。お酒に酔ってしまつと、普段よりも呼ばれることが多くなるので、それだけ疲れがたまり、自分のしたいこともろくにできません。それでも、学校のことは終らせなければいけないので、寝る時間も遅くなります。そんな日が多くなり、疲れがたまつてしまつ毎日不満を感じることもよくありました。でもそんな中、祖父が心筋梗塞になりました。そして、何日か集中治療室に入ることにになり、その時初めて思ったことがあります。家に帰って、いつもなら大きな声で呼ばれる私の名前が呼ばれません。いつものように、話し相手をするのささえもできません。病院にいるのだから当たり前のことなのに、とても寂しいと思いました。そして、入院した次の日の夜遅くにお見舞いに行つ

たときに、ベッドにいる祖父と話をすることができました。そのとき最後に、祖父は私のことを心配して、「明日は学校だろ？早く帰って寝らんと、学校に遅れるた」と言ってくれました。自分のほうが辛いと思うのにそんな優しい言葉をかけてくれる祖父を見ていて、思わず涙が出てきました。それから何日か後には、集中治療室から出ることができましたが、まだ治ったわけではなかったため、家族や親戚の誰かが毎日、夜は父と母が交代で付き添っていました。それで、私も一日付き添っていた日がありました。ご飯を食べさせたり話したりと、一日中祖父と一緒にいました。看護師の方とも話をしたりして、とても充実した一日を過ごしました。祖父のお手伝いをするのことに不満を感じていたときのことを思い出すと、あの時はきついなと思ったこともあったけれど、こうしてあの時の生活がでなくなると、家に一人でも多くの家族がそろっていられるだけでも、幸せだったんだなあ、と改めて思いました。

そして、病気が良くなった祖父が、家に帰ってきました。以前は当たり前だと思っていた生活に戻ることができて、とても嬉しかったです。また、不満に思っていた

ことすら、今は楽しく充実していると思えます。いつか、祖母の病気で一緒に暮らせるといいなと思います。祖父にも、お酒と上手につきあつてもらえればと思うし、最近も私も上手に自分のしたいことをする時間を作ることができるようになったので、その分一生懸命祖父のお手伝いも頑張っています。

普段は当たり前だと思っていること、嫌だと思っていることも、失ってみるととても大切だと気づくかもしれません。私は、実際に当たり前に思っていたこと、不満に感じていたことができなくなつて初めて、当たり前の大切さに気づかされました。これから、もっとたくさん上手にいかないことや悩みなどが増えてくると思いますが、そんな時こそ、祖父から学んだ「当たり前の大切さ」を忘れずに、一日一日を過ごしていきたいです。



菊池夢美術館情報

問い合わせ先 菊池夢美術館 ☎0968 (23) 1155

夫婦の手紙・絵手紙展の作品展

期間 平成24年1月31日(火)まで



- ◆上位入賞者
- ・夫婦の絵手紙大賞 久保寺重信さん
- ・最優秀賞(手紙) 伊藤正江さん
- ・最優秀賞(絵手紙) 佐間みどりさん

←絵手紙最優秀賞作品

常設展では菊池にゆかりある人物、歴史の展示をしています。また、平成24年度の展示室の受け付けもしていますのでお問い合わせください。

開館時間 午前9時～午後5時30分  
12月の休館日 30日(金)・31日(土)

ふるさと緑の便り  
菊池グリーンツーリズム

問い合わせ先 きくちふるさと水源交流館 ☎0968(27)0102

◆ふるさと学校  
農(アグリ)×業(ビジネス)をキーワードに、地元学や地域調査などの実践的なワークショップを通して新しいスタイルの学びの場を提供する取り組みを水源地区で行います。

今年度計3回行われる「ふるさと学校」では、各分野で活躍中の講師陣を迎え、充実したプログラムを準備しています。地域の担い手を目指して取り組んでいる人、地域づくりの情報や実践的なノウハウを学びたい人に参加していただきたい取り組みです。

開催日(第2回)

12月10日(土) 1泊2日  
参加費(宿泊費・保険込み) 一般 4,000円  
高校生 2,000円  
※講座聴講など部分参加も可能  
※第3回は2月4日(土)に開催



わいふ一番館だより

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968 (24) 6630

季節感のある風景写真を撮りました。個々の作品の良いところを出したいと思っています。一度ご覧ください。

第3回まちかど資料館企画展

菊池市内の墓碑・史跡碑の拓本展  
期間 12月2日(金)～平成24年3月25日(日)  
古くからある菊池市の貴重な石碑を拓本にして展示しています。書は体を表し精神を映すと聞きます。歴史ある碑文に込められた万感の想いを感じ取ってください。年末年始の休館日 12月28日(水)～平成24年1月4日(水)



「はい！こちら菊池市消費生活センターです！」  
問い合わせ先 菊池市消費生活センター ☎0968(36)9450  
平日午前10時～正午、午後1時～午後4時 商工観光課入り口

今日は賃貸住宅を退去する際の敷金返還に関するトラブルについてお知らせします。

賃貸の戸建住宅、アパートやマンションでは入居時に家賃の敷金月分の「敷金」を預けることが一般的です。この敷金は借り手が家賃支払いを怠ったり、部屋を壊したりなど契約違反時の損害賠償の担保として預けられておくものです。退去後には返還されることになっています。しかし、退居時に「原状回復」を名目に多額の費用を計上され敷金から差し引かれ、時には敷金を超える多額の費用を請求されるトラブルが全国的に多く発生しています。

住んでいればフローリング・ふすま・畳・壁紙などは当然古くなっていきます。しかしその費用は、借主が支払った家賃から家主が負担するべきものであり、これを敷金から差し引くものではないです。退去の際に、常識的な清掃は行うべきですが、専門業者によるハウスクリーニングも家主が負担するのが妥当です。

国土交通省はこうしたトラブルを避けるために「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」を公表しています。借り主が故意や過失により生じた汚れや傷については当然回復費用を負担しなければなりません。建物全体や部屋全体の費用を負担すべきものではありません。通常の生活で起こる家具の設置によるへこみや設置跡などは家主の負担です。

入居時に賃貸住宅標準契約書に加え、例外として通常損耗や経年変化についても賃借人が補修費用を負担する旨の特別の契約(特約)が付くことがあります。しかし最高裁判例では、「消費者の利益を一方的に害するものであり無効」と規定されています。

家主・借家人の双方が「ガイドライン」について十分な認識があればトラブルの多くは避けられるでしょう。実際にトラブルになった場合は「ガイドライン」を基にした話し合いになります。

それでも解決しない場合は裁判所の調停や少額訴訟という制度があります。実際トラブルになった場合はぜひ消費生活センターに相談してください。